

事 務 連 絡
令和 3 年 2 月 17 日

各都道府県 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局健康課予防接種室

新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する相談体制の構築について

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン（以下「新型コロナワクチン」という。）の接種に当たっては、国及び自治体において相談体制を確保していくことが重要です。国の新型コロナワクチンコールセンターは令和 3 年 2 月 15 日に開設されたところですが、自治体においてもコールセンターまたは相談窓口（以下「コールセンター等」という。）の設置により、住民や医療機関等からの問合せに対応する体制の構築を進めるようお願いいたします。

つきましては、下記事項について御了知の上、管内市区町村へ周知いただくようお願いいたします。

記

1 コールセンター等の設置に向けた準備

都道府県及び市区町村においては、住民への新型コロナワクチン接種に向けて、3 月中旬を目途にコールセンター等を開設するよう準備を進めること。

なお、コールセンター等を外部機関等に業務委託する場合、開設までに向けたスケジュールは、以下を参考とすること。

～2 月中旬頃	契約に係る事務手続き
2 月中旬～3 月上旬頃	コールセンター等の対応者（オペレーター等）の教育
3 月中旬頃	コールセンター等の開設

2 各コールセンター等の役割分担について

新型コロナワクチンに関する相談窓口は、国及び自治体が設置するコールセンター等の他、各ワクチンメーカーが設置する相談窓口、ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）に関する相談窓口がある。各相談窓口の役割は、概ね別添 1 のとおりである。各自治体においては、住民や管内の医療機関等から

の問合せに対応いただくとともに、問合せ内容に応じて、関係機関の相談窓口を適切に紹介いただくようお願いする。

また、都道府県及び市区町村のコールセンター等において想定される代表的な問合せへの対応例を別添2のとおりお示しするので、各自治体の実情を踏まえた想定問答集等を作成する際の参考にしていただきたい。

(各機関の問合せ窓口)

- ・厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター
電話番号：0120-761-770
対応時間：9時00分～21時00分（平日、土日・祝日）

- ・ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）サービスデスク
電話番号：050-3174-1505
対応時間 8時30分～19時00分（平日のみ）

- ・ファイザー新型コロナウイルスワクチン専用ダイヤル
電話番号：0120-146-744
対応時間：9時00分～20時00分（平日、土曜）
- ・ファイザー新型コロナウイルスワクチン医療従事者専用サイト
ログイン・登録事務局
電話番号：0120-291-017
対応時間：9時00分～20時00分（平日、土曜）

3 「コロナワクチンナビ」におけるコールセンター等電話番号の掲載（依頼）

新型コロナワクチン接種総合案内サイト「コロナワクチンナビ」の開設にあわせて、コロナワクチンナビに各自治体コールセンター等の電話番号を掲載すること。詳細な掲載方法等は、追ってお示しする。

- 新型コロナウイルスワクチン接種に関する国民や医療機関等からの相談は、国・都道府県・市町村及びワクチンメーカー等が、それぞれの役割に応じて対応する。
- 国は、国民や医療機関等に対し科学的知見に基づいた正確な情報を丁寧に発信するとともに、都道府県・市町村の相談対応に資するよう、Q&Aを示す等により必要な情報提供を行う。

ワクチンメーカー



各ワクチンに係る個別具体的な問合せへの対応

- ○○疾患の患者に接種してよいか
 - △△薬内服中の患者に接種してよいか
 - ワクチン内の具体的な成分
 - ワクチンの取扱上の注意点
- 等

V-SYS利用者からの問合せへの対応

- ログインID・パスワードを忘れてしまった
 - 入力内容を修正したいがどうしたらよいか
- 等



ワクチン接種円滑化システム
(V-SYS) サービスデスク

厚生労働省 新型コロナワクチンコールセンター



コロナワクチン施策の在り方等に関する
問合せへの対応

- ・ワクチン接種に係る基礎的な情報に関する問合せなどは、国、都道府県、市町村すべてで対応する。
- ・都道府県、市町村から国への問合せは、厚生労働省の担当部局にて対応する。

※各窓口は、必要に応じて担当の窓口を紹介する

都道府県 相談窓口またはコールセンター



医学的知見が必要となる専門的な相談など、市町村では対応困難な問合せへの対応

- 接種後3日経っても腫れているが、医療機関を受診した方がよいか
- 等

住民や医療機関からの問合せ対応

- どの医療機関で接種できるのか
 - クーポン券を紛失したがどうしたらよいか
 - クーポン券を持参し忘れた方が来院したが、接種してもよいか（医療機関）
- 等



市町村 相談窓口またはコールセンター

自治体コールセンター等における問合せに対する回答例

1. 新型コロナワクチン全般に関する問合せ応答例

No.	質問	回答
1	新型コロナワクチンの接種を希望しません。接種しなくてもよいでしょうか。	新型コロナウイルスワクチン接種は、コロナウイルスに感染した場合に、発症や重症化を予防する効果が期待されています。強制接種ではなく、あくまでご本人の意思に基づいて受けていただくものですので、接種を希望されない場合は、無理に接種する必要はありません。
2	新型コロナワクチン接種にあたって、接種する本人の同意は必要でしょうか。	新型コロナウイルス感染症のワクチンの接種は、しっかり情報提供を行ったうえで、接種を受ける方の同意がある場合に限り接種を行うことになります。既存の予防接種を受ける方には、予防接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意志で接種を受けていただいています。接種を受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。
3	新型コロナワクチンの接種は無料ですか。	全額公費で接種を行う見込みです。住民票のある市町村から接種券(クーポン券)をお送りし、それを持って接種していただくことになります。
4	新型コロナワクチンの接種前に、抗体検査を行いますか。	国が抗体検査を行うことは予定しておりません。
5	接種するワクチンは選べますか。	接種を受ける時期に供給されているワクチンを接種することになります。また、複数のワクチンが供給されている場合も、2回目の接種では、1回目に接種したワクチンを同じ種類のワクチンを接種する必要があります。
6	新型コロナワクチンを接種したら、制限無く行動できるようになるのでしょうか。	ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、ワクチンを受けた方から他人への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、すぐに多くの方が予防接種を受けられるわけではなく、ワクチンを受けた方も受けていない方も、共に社会生活を営んでいくことになります。このため、引き続き、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。 具体的には、「3つの密※」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行などをお願いします。 ※密集・密接・密閉
7	変異株の新型コロナウイルスにも効果はありますか。	一般論として、ウイルスは絶えず変異をおこしていくもので、小さな変異でワクチンの効果がなくなるというわけではありません。また、ファイザー社のワクチンでは、変異株の新型コロナウイルスにも作用する抗体がつくられた、といった実験結果も発表されています。承認申請がなされた新型コロナワクチンの審査に当たっては、変異株に関する情報も含め、引き続き様々な情報を収集しつつ、適切に有効性、安全性等を確認してまいります。
8	新型コロナワクチンの接種にリスクはありますか。	新型コロナワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を予防することが期待されていますが、副反応のリスクもあります。副反応は数日以内の時間経過で治るものが大半であり、重篤な副反応は、あるとしても極めてまれと考えられます。全体としてリスクを上回る効果があると考えられることから、新型コロナウイルス感染症による死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、同感染症のまん延の防止を図るため、接種を希望する方が適切に接種できるよう、接種を提供することにしています。 一般に、ワクチンなどの医薬品は、正しく使用しても一定の割合で副作用(副反応)が発生する可能性があり、最終的に接種するかどうかは、ワクチン接種のリスクと効果の双方を考慮して、ご本人の意思で判断していただくことが大切と考えております。
9	何回接種する必要がありますか。	接種が予定されている新型コロナウイルスワクチンは、2回接種の想定で準備を進めています。
10	ワクチンを受けられないのはどのような人ですか。	一般に、以下の方は、ワクチンを受けることができません。ご自身が当てはまると思われる方は、ワクチンを受けても良いか、かかりつけ医にご相談ください。 ・明らかに発熱している方(※1) ・重い急性疾患にかかっている方 ・ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなど重度の過敏症(※2)の既往歴のある方 ・上記以外で、予防接種を受けることが不適當な状態にある方 (※1) 明らかな発熱とは通常37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。 (※2) アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。
11	ワクチンを受けるのに注意が必要なのはどのような人ですか。	一般に、以下の方は、ワクチンを受けるに当たって注意が必要です。ご自身が当てはまると思われる方は、ワクチンを受けても良いか、かかりつけ医にご相談ください。 ・過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方 ・心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある方 ・過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた方 ・過去にけいれんを起こしたことがある方 ・ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある方 また、新型コロナワクチンは筋肉内に注射することから、 ・抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある方は、接種後の出血に注意が必要とされています。
12	妊娠中や授乳中の人は、ワクチンを受けることができますか。	妊娠中、授乳中の方も、新型コロナワクチンを受けることができます。ただし、妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、海外の実使用経験などから現時点で特段の懸念が認められているわけではありませんが、安全性に関するデータが限られていることから、接種のメリットとデメリットをよく検討して接種を判断していただくこととしています。なお、日本産婦人科感染症学会・産婦人科学会からは、「感染リスクが高い医療従事者、重症化リスクがある可能性がある肥満や糖尿病など基礎疾患を合併している方は、ワクチン接種を考慮する」と提言されています。また、授乳中の女性については、現時点で特段の懸念が認められているわけではなく、海外でも接種の対象とされています。 ワクチンを受けるかお悩みの方は、主治医とご相談ください。
13	新型コロナウイルスに感染したことがある人は、ワクチンを受けることはできますか。	既にコロナウイルスに感染した人も、新型コロナワクチンを受けることができます。ただし、受けた治療の内容によっては、治療後から接種まで一定の期間をおく必要がある場合がありますので、いつから接種できるか不明な場合は、主治医にご確認ください。また、事前に感染したかどうかを検査して確認する必要はありません。
14	持病があり、薬を飲んでいる人はワクチンを受けることはできますか。	薬を飲んでいるために、ワクチンが受けられないという薬はありませんが、基礎疾患のある方は、免疫不全のある方、病状が重い方など、接種を慎重に検討した方がよい場合がありますので、かかりつけ医とご相談ください。ただし、抗凝固薬(いわゆる「血をサラサラにする薬」の一部です)を飲んでいる方は、ワクチンを受けた後、2分以上しっかり押さえてください。当てはまるかどうか不明な方は、かかりつけ医などにご確認ください。

15	子どもはワクチンを受けることができますか。	現在薬事承認されている、ファイザー社の新型コロナワクチンについては、16歳以上が薬事承認の対象となっています。 また、予防接種法に基づく公費での接種の対象は16歳以上の方です。このため、16歳に満たない方は、ワクチンの接種の対象にはなりません。 アストラゼネカ社、モデルナ社の新型コロナワクチンでは、18歳以上に対して臨床試験が行われており、今後、提出された臨床試験のデータに基づき、接種の年齢が決められます。また、ファイザー社、モデルナ社 の新型コロナワクチンでは12歳以上の小児を対象とした臨床試験が開始されています。 接種の対象者は、現時点の科学的知見に基づいて決められています。将来的には、接種の対象年齢が広がる可能性もあります。
16	最近手術をしたばかりですが、すぐに新型コロナワクチン接種をしてよいですか。	受けた手術の内容や内服している薬の状況等により異なりますので、主治医にご相談ください。
17	アレルギーがあるが、新型コロナワクチンを接種して問題ないでしょうか。	ワクチンの成分にアレルギーのある方は接種を避けてください。それ以外のアレルギーの方は、主治医や接種を行う医師とご相談ください。
18	ファイザー社のワクチンは、通常、1回目から3週間後に2回目を受けることになっていますが、どのくらいずれても大丈夫ですか。	ファイザー社のワクチンは、標準としては、1回目から3週間後（3週間後の同じ曜日）に2回目を受けていただくことになっています。 一番早くて19日後（木曜日に1回目の接種を受けた場合、3週間後の火曜日）に接種を受けられますが、それより前には受けることができません。 接種間隔が3週間から大きくずれた場合の効果は確かめられていないことから、1回目の接種から3週間を超えた場合、できるだけ早く2回目の接種を受けてください。
19	新型コロナワクチンとそれ以外のワクチンは、同時に受けることはできますか。	原則として、新型コロナワクチンとそれ以外のワクチンは、同時に接種できません。新型コロナワクチンとその他のワクチンは、互いに、片方のワクチンを受けてから2週間後に接種できます。 （例）4月1日に新型コロナワクチンを接種した場合、他のワクチンを接種できるのは、4月15日（2週間後の同じ曜日の日）以降になります。
20	アナフィラキシーではどのような症状が出ますか。治療法はありますか。	薬や食物が身体に入ってから、短時間で起きることのあるアレルギー反応です。 じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が急におこります。血圧の低下を伴い意識レベルの低下（呼びかけに反応しない）や脱力を来すような場合をアナフィラキシーショックと呼びます。 特定のワクチンだけに起きるものではなく、様々な医薬品やワクチンの投与後に報告されています。例えば、インフルエンザワクチン接種後の副反応疑い報告では、因果関係があるかどうか分からないものも含め、1シーズンで、約20件のアナフィラキシーが報告されています。 予防接種後に、息苦しさなどの呼吸器症状がみられれば、接種会場や医療機関で、まず、アドレナリン（エピネフリン）という薬の注射を行います。そのあと、症状を軽くするために、気管支拡張薬等の吸入や抗ヒスタミン薬、ステロイド薬の点滴や内服なども行います。 接種後にもしアナフィラキシーが起ころっても、すぐに対応が可能なよう、予防接種の接種会場や医療機関では、医薬品などの準備をしています。
21	ワクチンを打った後にやっては行けないことはありますか。運動や入浴、お酒を飲んで問題ないでしょうか。	通常の生活は問題ありませんが、激しい運動や過度の飲酒等は避けてください。
22	新型コロナワクチンは、マイナス70℃で管理しなくてはならないと聞いたが、どのように管理するのでしょうか。	ファイザー社のワクチンはマイナス70℃で管理します。接種会場へはドライアイスを含めた箱で配送し、接種会場では超低温冷凍庫又はドライアイスを含めた保冷箱で保管します。なお、接種時には室温になりますので、マイナス70℃のまま注射をするわけではありません。
23	優先接種の範囲を教えてください。	重症化リスクの大きさ、医療提供体制の確保等を踏まえ、医療従事者等、高齢者、高齢者以外で基礎疾患を有する者、高齢者施設等の従事者などが、早期に接種される見込みです。
24	優先接種の接種順位を教えてください。	接種順位は、医療従事者、65歳以上の方、基礎疾患のある方と高齢者施設の従事者、それ以外の方という順番で進んでいきます。
25	新型コロナワクチン接種後に、証明書（接種済証）が発行されますが、これは差別の原因とならないでしょうか。	新型コロナワクチンを接種した方には、接種を行った市町村から、接種済証が発行されます。 接種を望まない人に対して、接種を強制することはできません。また、接種を受けたり受けなかったりすることで差別をすることは適切ではありません。（無理に接種を迫ることや差別的な取扱い等をした場合に、どのような処罰が科されるかどうかについては、個別に状況により判断されるものと考えております。）
26	新型コロナワクチンの接種を希望しません。もし会社からワクチンを接種しないと出社してはいけないという指示を受けたり、ワクチンを接種しないことによって差別的な扱いを受けた場合は、補償していただけますか。	ワクチンを接種するかどうかは、ワクチン接種のリスクとベネフィットの双方を考慮して、ご本人の意思で判断していただくことが大切と考えています。 接種を望まない人に対して、接種を強制できるというルールはありませんので、会社で接種を求められても、ご本人が望まない場合には断ることができます。 （なお、無理に接種を迫ることや差別的な取扱い等をするのが、個別の法令等に違反するかどうかについては、最終的には強制の方法や差別的な取り扱いの内容など、個別の事例によるものと考えております。）

2. 都道府県コールセンター等において想定される問合せ応答例

No.	質問	回答
1	これまでに認められている副反応にはどのようなものがありますか。	現在、開発中の新型コロナワクチンの副反応については、どのようなものが起こりうるか確認されているところです。 日本への供給を計画している海外のワクチン（ファイザー社、アストラゼネカ社、モデルナ社、ノババックス社が開発中のワクチン）では、ワクチン接種後に、ワクチン接種と因果関係がないものも含めて、接種部位の痛みや、頭痛・倦怠感・筋肉痛等の有害な事象がみられたことが論文等に発表されています。 また海外で既に実施されている予防接種においては、まれな頻度でアナフィラキシー（急性アレルギー反応）が発生したことが報告されています。もし、アナフィラキシーが起きたときには、接種会場や医療機関ですぐに治療を行うことになります。
	ワクチンを受けた後に熱が出たら、どうすれば良いですか。	ワクチンによる発熱は接種後1～2日以内に起こることが多く、必要な場合は解熱鎮痛剤を服用いただくなどして、様子をみていただくことになります。このほか、ワクチン接種後に比較的起きやすい症状としては、頭痛、疲労、筋肉痛、悪寒（さむけ）、関節痛などがあります。 ワクチンによる発熱か、新型コロナウイルス感染症かを見分けるには、発熱以外に、咳や咽頭痛、味覚・嗅覚の消失、息切れ等の症状がないかが、手がかりとなります。（ワクチンによる発熱では、通常、これらの症状はみられません。） ワクチンを受けた後、2日以上熱が続く場合や、症状が重い場合、ワクチンでは起こりにくい上記の症状がみられる場合には、医療機関等への受診や相談をご検討ください。
2	新型コロナワクチンの接種後に体がだるくなったが、これは副反応ですか。病院に行った方が良いでしょうか。	ワクチン接種後には、免疫反応が起こるために、発熱・倦怠感・頭痛等の症状が出る場合があります。こうした症状は、数日間で改善していくことが多いですが、症状がひどい場合、治らない場合には、医療機関にご相談ください。
3	接種してから体調が悪いので病院に行きたい。どの医療機関を受診すればよいのか。	まず、ワクチンの接種を受けた医療機関またはかかりつけ医などの身近な医療機関にご相談ください。
4	海外でアナフィラキシーショックが生じた事例があると聞いたが、そのような症状は起こりますか。	新型コロナウィルスワクチンに限らず、ワクチン接種に伴って稀に発生しうる副反応の1つにアナフィラキシーショックがあります。アナフィラキシーショックは、急性のアレルギーで、治療法があることから、接種した医療機関などで治療を行うことができます。 一般に、ワクチンなどの医薬品は、正しく使用したとしても一定の割合で副作用（副反応）が発生する可能性があることから、最終的に接種するかどうかは、予想されるリスクも踏まえ、個々人が判断する必要があります。 なお、万一、接種により健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく予防接種健康被害救済制度により、適切な補償が受けられます。

5	国内における副反応の情報は公表されますか。	国内で接種された結果発生した副反応に関する情報は、予防接種法及び薬機法（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）の枠組みの下で適切に収集され、厚生労働省の審議会において評価され、その結果は公表されます。
6	接種後に【●●（発熱、腫れ、倦怠感等の症状）】が出たのですが、どこに相談すればよいですか？	※各都道府県において回答を作成ください。症状によって紹介する医療機関が異なる場合はその旨ご案内ください。
7	接種後に出た【●●（発熱、腫れ、倦怠感等の症状）】で医療機関を受診しましたが、その後も症状は改善されていません。別の医療機関を紹介してもらうことはできますか。	※各都道府県において回答を作成ください。症状によって紹介する医療機関が異なる場合はその旨ご案内ください。
8	かかりつけ医はいないのですが、接種を受けた後も、接種後の不安等に関して医師等に直接相談できる場所がありますか。	※各都道府県において回答を作成ください。

3. 市町村コールセンター等において想定される問合せ応答例

No.	質問	回答
1	自分は基礎疾患がありますが、優先接種の対象に含まれるかどうか、どのように判断すればよいでしょうか。	接種券に同封されるご案内に、優先される基礎疾患の一覧が記載されますので、治療中の疾患が一覧にあることを確認して下さい。もしご自分で判断できない場合は、主治医などに相談してください。なお、接種前の予診の際に、医師が予診票の質問事項を見て優先される基礎疾患を有していることを確認します。
2	「基礎疾患を有する者」に当てはまることを証明するために、診断書は必要ですか。	診断書等は必要ありません。予診票に記載していただき、必要があるときは、問診で病気や治療の状況などを確認します。
3	厚生労働省のホームページに「外国人も含めて接種の対象となるすべての住民に全額公費で接種を行う見込み」と記載があるが、公費の対象となる外国人の明確な基準を教えてください。	原則として、居住の実態がある外国人の方は対象となります。
4	ワクチン接種優先順位の「基礎疾患がある方」は何で判断されて優先されるのか。基礎疾患を証明する診断書や明細書などの用意は必要か。	本人が、予診票に基礎疾患を有することを記入することで自己申告し、予診で医師が確認します。基礎疾患を証明する診断書や明細書の用意は不要です。
5	新型ワクチンの接種後に副反応が出た場合、補償はありますか。	万一、接種により健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく予防接種健康被害救済制度により、適切な補償が受けられます。 新型コロナウイルスワクチンの接種を受けた方が疾病等の状態にあり、その疾病等が新型コロナウイルスワクチンの接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認めた場合には、国が費用を負担します。予防接種によって通常起こりうる軽度な副反応については、疾病等の状態に該当しないため、認定の対象とならないことがあります。 詳しくは厚生労働省HPをご覧ください。 (厚生労働省HP) https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou20/kenkouhigai_kyusai/
6	私が住んでいる市（区町村）における、接種までの手続きの流れを教えてください。	※各市区町村において回答を作成ください。
7	インターネット環境がないのですが、「コロナワクチンナビ」以外で、私が住んでいる市（区町村）内の接種を受けることができる医療機関・接種場所をどのように知ることができますか。	※各市区町村において回答を作成ください。
8	仕事のため、平日昼間は休めません。私が住んでいる市（区町村）内に、平日夜間や土日祝日に接種を受けることができる医療機関・接種場所がありますか。	※各市区町村において回答を作成ください。
9	事前予約なしで接種を受けることができる医療機関・接種場所は私が住んでいる市（区町村）内にありますか。	※各市区町村において回答を作成ください。
10	新型コロナワクチン接種に関して、私が住んでいる市（区町村）からどのようなお知らせが届きますか。	※各市区町村において回答を作成ください。
11	私が住んでいる市（区町村）で、接種券は、私にはいつ頃届きますか。（私が接種できる時期は何月頃ですか。）	※各市区町村において回答を作成ください。
12	同じ高齢者である近所の人には接種券が届いてますが、私に届いていないのはなぜですか。	※各市区町村において回答を作成ください。
13	接種券が届かないのですが、どうすればいいですか。	※各市区町村において回答を作成ください。
14	1回目の接種前に接種券を紛失してしまったのですが、このような場合、私が住んでいる市（区町村）ではどのような手続きが必要でしょうか。	※各市区町村において回答を作成ください。
15	2回目の接種前に、1回目の接種済証付きの接種券を紛失してしまったのですが、2回目の接種を受けるためにどのような手続きが必要でしょうか。	※各市区町村において回答を作成ください。
16	2回目の接種はどのタイミングで予約するのでしょうか。1回目接種の予約時に2回目接種の予約もできますか。	※各市区町村において回答を作成ください。
17	私が住んでいる市（区町村）において、接種2回目の医療機関・接種会場は、接種1回目の医療機関・接種会場から変更することができますか。（同じ医療機関・接種会場で接種を受けなくてはならないのですか。）	※各市区町村において回答を作成ください。
18	今私が住んでいる市（区町村）に住民票を動かしていないのですが、今住んでいる市（区町村）で接種は受けられますか。	※各市区町村において回答を作成ください。
19	予約した医療機関・接種会場や予約日時を変更したいです。どうすれば変更できますか。	※各市区町村において回答を作成ください。
20	ワクチン接種後に予定があるのですが、接種（受付～状態観察終了）にはどのくらいの時間が掛かりますか。	※各市区町村において回答を作成ください。
21	私が住んでいる市（区町村）において、接種時に、障害者や日本語に不慣れな外国籍の人はサポートを受けられますか。	※各市区町村において回答を作成ください。
22	接種時に、子供やペットと一緒に連れて行ってもいいですか。また、接種場所に託児所がありますか。	※各市区町村において回答を作成ください。
23	接種済証を紛失してしまったので再発行してほしいのですが、私が住んでいる市（区町村）において、どのように手続きすればよいでしょうか。	※各市区町村において回答を作成ください。

24	私が接種を受けるワクチンの種類（ファイザー社製等）を予め知りたいです。 どこで確認できますか。	※各市区町村において回答を作成ください。
25	1回目の接種を受けた後、事情により2回目の接種を受けることができなかったのですが、（1回目の接種から時間が経った）今からでも接種を受けることはできる医療機関・接種会場はありますか。	※各市区町村において回答を作成ください。